

2025年度 事業計画
(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

1. 大同生命地域研究賞の贈呈

(定款第4条第1号に該当)

(1) 第40回受賞者の決定と贈呈式の開催

本賞の推薦委員から推薦のあった候補者の中から、地域研究賞1名、地域研究奨励賞3名、地域研究特別賞1名を決定し、贈呈式を開催する。

① 日程

- ・ 推薦の締切り 4月30日(水)
- ・ 選考委員会の開催 5月30日(金)
- ・ 理事会(書面開催/受賞者の承認) 6月上旬
- ・ 贈呈式の開催 7月29日(火)

② 選考委員

- 井上 真 氏 (早稲田大学人間科学学術院教授、東京大学名誉教授)
臼杵 陽 氏 (日本女子大学文学部教授、日本女子大学大学院文学研究科教授) [選考委員会委員長]
- 小長谷有紀 氏 (国立民族学博物館名誉教授)
關 雄二 氏 (国立民族学博物館名誉教授)
(2025年4月1日より同博物館館長に就任予定)
- 松田 素二 氏 (総合地球環境学研究所特任教授、京都大学名誉教授)

(2) 大同生命地域研究賞講演会の開催

受賞者の研究成果の披露および賞の知名度の一層の向上等を兼ねた講演会を開催する。

- ① 講演者：地域研究賞受賞者(過去の受賞者含む)
- ② 聴講者：一般公募

2. 翻訳出版事業

(定款第4条第2号に該当)

(1) アジア諸国の現代文芸作品の日本語翻訳出版 <「アジアの現代文芸」シリーズ>

① 出版候補作品

- ・以下の作品を出版(電子書籍版も出版)する。
- ・書籍は、全国の大学・公立図書館等に寄贈する(2,500部)。
電子書籍は当財団のホームページ上等で無料公開する。
- ・出版作品の選定にあたっては、翻訳対象国、著作権者・翻訳者の了承等に十分留意する。

No.83 マレーシア⑤ 『ある語り部の最後の日々』

- ・マレーシア作品として、5作品目。
- ・この作品は、マレー半島の農村を舞台に、マレー農村の自然の美しさ、伝統的な慣習やイスラム信仰に根ざした日常生活を巧みに描写しながら、年老いた語り部の辛苦と試練に満ちた人生を描いた純文学作品。
- ・著者 アンワル・リドワン
- ・著者は、本作品で第1回全国作家協会賞を獲得し、文学界に確固とした地位を築く。マレーシアでは日本の文化功労賞に相当する「国民的栄誉作家」(サストラワン・ヌガラ)がこれまで14名いるが、2009年に10番目の国民的栄誉作家に選ばれたマレーシアを代表する作家のひとり。
- ・翻訳者 小野沢 純(一般財団法人国際貿易投資研究所客員研究員)
※小野沢氏の当シリーズでの翻訳作品
『ある女の肖像』(1998年)小野沢純監修 加古志保訳

(2) アジア各国語への翻訳出版 <「ジャパニーズ・ミラズ」シリーズ>

① 出版候補作品

- ・以下の作品を出版し、作品は現地の学校や図書館等に寄贈する(2,000部)。
出版作品の選定にあたっては、出版国における出版事情、配送事情、配本先および著作権者・出版元の了承等に十分留意する。

No.5 2 タイ語⑭『津田梅子』

- ・タイ作品として、14作品目。
- ・日本最初の女子留学生としてアメリカに11年滞在し、帰国後は教育に身をささげ、津田塾大学を創設した津田梅子。日本における女子教育の先駆者となる梅子は、2024年7月に発行された新五千円札の肖像にもなった。
- ・翻訳者 ポーン・アノン・ニヨムカ(タイ国児童図書評議会会長、元泰日工業大学副学長)

小林マリナ(タイ国大使館商務参事官事務所)

※ポーン・アノン氏の当シリーズでの翻訳作品

『野口英世』(1999年)(2002年タイ王国翻訳出版賞[敢闘賞]受賞)、『宮沢賢治』(2003年)、『橋をかける』(2004年)、『一休』(2007年)

※小林マリナ氏の当シリーズでの翻訳作品

『手塚治虫』(2015)、『兎の眼』(2020年)

3. 教育支援事業

(定款第4条第4号に該当)

- ・勉学環境に恵まれない東南アジアの生徒のために、ラオス、カンボジア、ミャンマーの3か国の学校に図書・教材・文房具等の支援を実施する。
- ・上記取り組みに加え、当財団設立40周年事業として、教育支援(寄附等)を実施する。

以上